

## 【1】地域ネットワーク(中部地域フラワーネット)

質問	内容
文化財に関わるどのような活動を行っているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>○フラワーネットについて <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度にスタート</li> <li>・掲げている活動の柱の一つが「地域の歴史を知ろう」</li> <li>・会合には40人くらいが参加している</li> <li>・会員の年齢層は70-80が多い</li> </ul> </li> <li>○定例会での歴史探訪の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財マップを持って市内を散策している。青梅街道や鎌倉街道や神社などをめぐっている</li> </ul> </li> <li>○定例会での歴史文化に関わる講演 <ul style="list-style-type: none"> <li>・定例会のたびに講師を呼び、市の歴史に関わる話をしてもらっている。</li> <li>・講師は住職さんや下田家、田無神社など、地域の歴史を知る方々にお願</li> </ul> </li> </ul>
活動を行う上での課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一方で話してもらう人は自分たちで決めているので、誰に話してもらうかのネタ探しが大変</li> <li>○定例会の参加者はそれほど増えない、参加者も高齢</li> <li>○小中学校の運営の中で歴史をやってみようかという話にならない <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒小中学校と一緒に何かやる場合は事前に話し合いながら進める必要があるが、来年再来年の話は地域ネットの中ではなかなか決められない。市に助けてほしい</li> </ul> </li> <li>○役員が1年交代の為、大掛かりな事業ができない</li> </ul>
今後の活動の将来像や、来年度以降の展開について（+実現のために市にやってほしいこと）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○文化財とじっくりで情報を発信する場が欲しい</li> <li>○下野谷遺跡のスポットを案内することはあるが、全体を語れる場がない</li> <li>○田無近辺市研究会が町の歴史を語ってくれている。 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒郷土史家さんがメンバーになっている</li> </ul> </li> <li>○情報発信をもっとしてほしい。 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒各地域の魅力が浮かび上がってくれば良い。地蔵や神社、街道、などでまとめたパッケージがあるといい</li> </ul> </li> <li>○文化財自体は把握したがそれにまつわる歴史や背景は話を聞かないとわからない。掘り起こす機会が必要</li> </ul>
地域博物館について、市民による文化財活動促進のために必要な機能や環境について	<ul style="list-style-type: none"> <li>○必ずしも立派な博物館を立てる必要はない。デジタル化の方が先にできるのではないかと</li> </ul>
その他、文化財の保存活用に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>○情報公開室があり、文化財のマップやウォーキングマップがあるが、もっと生きやすい場所に置いておき、人が配るなど工夫が必要なのではないか。</li> <li>○プロジェクターなどで情報を流してもいいのではないかと</li> <li>○小中学校と連携して講演できたらいいのではないかと</li> </ul>

## 【2】速間流田無ばやし保存会

質問	内容
文化財に関わるどのような活動を行っているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>○田無囃子の伝承</li> <li>・週1回の練習</li> <li>・田無神社の元旦祭り、2月に節分祭り、7月に柳沢津島神社、10月に田無神社の祭礼、11月が酉の市、そのほかお祝いがあると呼ばれる</li> <li>・メンバーは現在9人（うち二人が高齢で活動は難しいので実質7人）</li> <li>・メンバーが少なく、最低でも5人いなくては練習にならないので近隣の関前や速間田無はやしを源流として武蔵野で活動する他団体と連携しながら練習や披露を行っている</li> <li>・関前神社で練習している</li> </ul>
伝承やそれに関わる活動を行う上での課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人数について</li> <li>・人数が増えないので、練習するにも人が足りない所以他団体と連携しながら行っている</li> <li>・平日はメンバーも働いているので集まりにくい</li> <li>○教え手に関わる課題</li> <li>・教えられる人がすくない。すべてを教えられるのは清水さんのみ</li> <li>・教える機会があっても指導役が足りていない</li> <li>・太鼓などは譜面があるが、笛は口伝のみで受け継いできている。途絶えてしまったら復活させるのが難しい。</li> <li>・今の時代の子どもたちに合った指導方法をしなくてはいけない。</li> <li>○文化の継承にかかる費用</li> <li>・楽器の整備や山車の整備にもお金がかかる。</li> <li>・学校に呼ばれたときも「無償で来てくれ」といわれることがある。文化財を守っていく為にもお金がかかっているということをしっかり教育していくことも重要</li> <li>○知名度について</li> <li>・高くない。田無駅の周辺では知名度はあるが西東京市は広いので。</li> <li>・御神輿の方が認知度が高いが、文化的背景としては御神輿よりもお囃子のほうが地位が上だった。そういう文化にまつわる知識ももっと知る機会があると文化財への接し方も変わってくるのではないか。</li> <li>○次世代への継承について</li> <li>・下の世代を広く捕まえていくことが重要。子どもが関わってくると親も関わってくれる。</li> </ul>

<p>今後の活動の将来像や、来年度以降の展開について (+実現のために市にやってほしいこと)</p>	<p>○お祭り以外のイベントなどにも西東京市の文化として披露する場がほしい ⇒西東京市で文化を大切にするという雰囲気が少ないように感じる</p> <p>○やる気のある小学校で月に2回程度練習する機会があれば子供にも伝わっていくのではないかと</p> <p>○動画などでの保存が必要。笛や獅子は口伝で見ても覚えるものなので、途絶えやすいが、動画などがあれば復元することもできるかもしれない</p>
<p>その他、文化財の保存活用に対する意見</p>	<p>○市全体でもっと大切にしてほしい</p> <p>○文化財の保存をしている人に対して「好きだからやっているでしょ」という態度は変えていく必要がある</p> <p>○田無囃子は武蔵野に広がっている囃子の源流でもある。その発祥の地なのだから、もっと大切にしてほしい</p>